



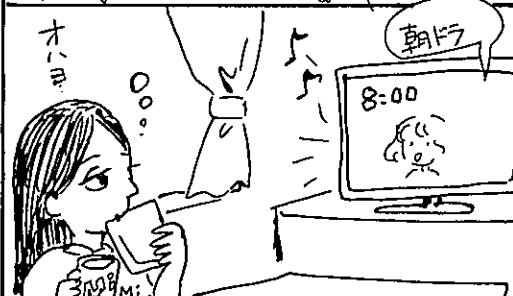
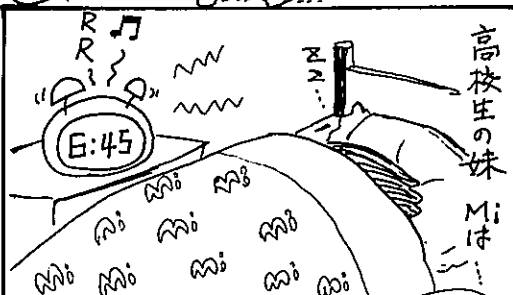
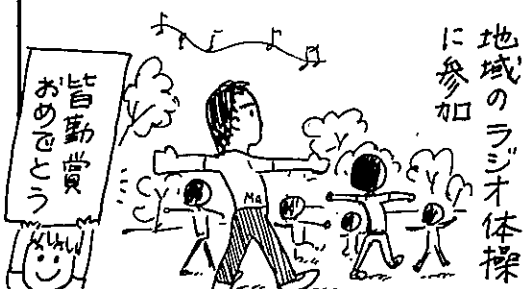
あーち夏季休館のお知らせ

8月10日(金)～16日(木)の期間
あーちはお休みさせていただきます。



えんじえる君II by Bon

それぞれの夏の朝



新プログラム「ほっこりほっと」(予約制)

「私の子育てこれでいい?」「なんだか発達が気になる」そんな思いを抱えながら子育てに奮闘しているお母さんの応援プログラムです。自分の思いや悩みを話して、ほっこりほっとしませんか?

日時: 8月23日(木) 10:40~12:00 ※毎月第4木曜日

場所: こらぼ・あーち

「じっけん教室」(予約制)

身近な材料で実験しよう! ローソクや入浴剤を作ります。

日時: ① 8月4日(土) 10:30~12:00

② 8月25日(土) 10:30~12:00

場所: ゆーす・あーち

よる・あーち
番外編!

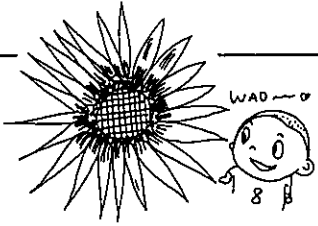
※ 各予約制プログラムの詳細は館内のチラシをご覧ください。
お申し込みはあーち受付まで。



私は結婚後1年以上、配偶者の希望で日曜日の教会のミサにしぶしぶ出席していました。しかし、私は何とか理由をつけて行かないようにし始めました。すると、ある日曜日から配偶者が“Do you want to go to church?”と聞いてくるのです。もともと行きたくない私に、「教会に行きたい?」と聞く配偶者に呆れながら、この質問には、自分の気持ちも言いやすく、“No”と即答。配偶者は、しょんぼりとミサへ。後々になってDo you want to~には、「～してくれませんか?」「～しませんか?」と、お願い事や何かを勧める時にも使われることが分かりました。当時、知らなくて私にはちょうど良かったのですが、知ってからは、適切な言い方で返事をしないといけないと意識しています。“I'm sorry. I don't want to~”と嫌なことは断ったり、良ければ、“Yes, sure”や“Thank you”と受けてみたり。返事にも思いやりがでます。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

8 月 予 定 表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	水		KOBE地震ITSUMO講座 11時～
2	木		
3	金	めだか親子クラブ 4時～ よる・あーち 4時～8時	
4	土	よる・あーち番外編 じっけん教室 ①（予約制） 10時30分～12時（ゆーす・あーち）	
5	日	休 館	
6	月		
7	火	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時～	
8	水		
9	木	親子のびのび体操 11時15分～12時15分 筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（はいはい） 11時～
10	金	 夏 季 休 館 	
11	土		
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		
16	木		
17	金	よる・あーち 4時～8時	
18	土	あらかると音楽あそび 11時～12時	
19	日	休 館	
20	月		
21	火	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時～	おひさまひろばあーち（午前中）
22	水		
23	木	ほっこりほっと(予約制) 10時40分～12時 筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（ねんね） 11時～
24	金	みんなで歌おう 10時30分～12時 おりがみ遊び 4時～ よる・あーち 4時～8時	
25	土	よる・あーち番外編 じっけん教室 ②（予約制） 10時30分～12時（ゆーす・あーち） いのちをつなぐイベント① 午前中 おはなしの国 1時30分～2時 おもちゃ病院 1時～3時（ゆーす・あーち）	
26	日	休 館	
27	月		
28	火	いのちをつなぐイベント② 1時～4時	おひさまひろばあーち（午前中）
29	水		
30	木	あーち♥ビギナーズ交流会（予約制） （6か月未満のお子さん） 1時30分～3時	
31	金	よる・あーち 4時～8時	

- ・プログラムは都合により変更することがあります。**太字のプログラム**は今月の特別プログラムです。
- ・予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。年齢制限はありません。
- ・ベビーマッサージにご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。
- ・「ふらっと」は16時30分より整理整頓の時間とさせていただきます。

よる・あーちのプログラム

居場所づくり（こらぼ）4時～ 学習支援（ふらっと、ゆーす）5時～ 子ども食堂（ほっと）6時～

【プログラム案内】

アートセラピー・・・自然素材や絵の具、粘土など様々な素材に触れながら、体全体で創作表現します。
あらかると音楽あそび・・・手づくり紙芝居や絵本と一緒に音楽遊びを楽しみます。
えいごであそぼう・・・英語を使った手遊びや歌、ダンスをして遊びます。
おしゃべりほっとタイム・・・子育てを中心にちょっと気がかりなことなど、みんなでワイワイ話しませんか？
おはなしの国・・・ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。（絵本の読み聞かせ）
おひさまひろば・・・灘区内公立保育所の保育士さんによる親子体操や手遊び、歌やお話など。
おもちゃ病院・・・壊れたおもちゃを修理します。
親子のびのび体操・・・手あそびや体操で親子のスキンシップをはかります
おりがみ遊び・・・おりがみを折ったり、工作を楽しみながら、さまざまな人たちと交流をはかります。
音楽の広場・・・参加型の演奏、おはなしなど、音楽を通してさまざまな人々が出会う場にしていきます。
パパママほっと・・・自閉症スペクトラムのお子さんを持つ保護者のための、語らいと情報交換の場です。
ピギナース交流会・・・生後6か月頃までの赤ちゃんとお母さんのための交流会です（予約制）。
筆をもとう・・・書の初歩から学びます。気軽に楽しく書に親しみましょう。小学生以上～おとな対象。
ベビーマッサージ・・・バスタオルと赤ちゃんの飲み物（お茶、母乳など）を持参してください。
ほのほの音ランド・・・音楽療法士による季節のうたや楽しいリズム遊び、楽器遊び。
めだか親子クラブ・・・身近な材料で、ぶんぶんゴマや竹とんぼなどの楽しいおもちゃを作ります。
よる・あーち・・・「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラムです。
らくがきおばさんがやってきた・・・何を描こう？何を作ろう？みんなで自由にアートを楽しみます。
リフレッシュYOGA・・・肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心に、自宅でもできるYOGA。

＜ふらっと相談員＞ ～お気軽にお声をかけてください～

火曜 午前 保育士
水曜 午前 NPO 法人マザーズサポーター協会（第4水）
木曜 午前 保健師（不定期）
助産師（月2回）
土曜 全日 助産師/保育士

あーちのルール

☆オムツやゴミはお持ち帰りください
☆託児はできません
☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です
ルールを守って楽しくすごしましょう！



絵本の世界へようこそ



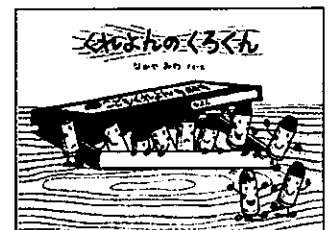
「あーち」にあるたくさんの絵本の中から、スタッフのおススメをご紹介します。
ぜひ手に取ってみてください。読んだ感想やお子さんの反応などもお寄せください。

「くれよんのくろくん」

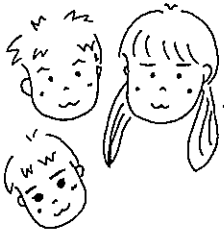
作・絵：なかや みわ

出版社：童心社 2001 年発行

白いがようしを前に、ちょう、おはな、はっぱ、き、あおぞら、じめん…、きいろ、あか、ピンク、みどり、あお、ちゃいろなど…、色のくれよんが次々登場する中、くろくんは出番がなく悲しくなります。描くことに夢中になりすぎてめちゃくちゃになって、くれよんたちは言い争いになります。そこへ、シャープペンのおにいさんのアイデアでくろくんが大活躍！くろくんがくろでなければ生まれないすばらしいアートができあがりました。同じ色はひとつもない、みんな違っているからこそ、より美しい花火が描けました。スクラッチの技法が題材となってストーリーには、人としてそれぞれの役割、その多様性、共存共生をあらためて教えられた思いです。



（あーち相談員 足立千晶）



長女さん：母の「夏期講習に行ったら？」の誘いを笑顔で断りました、小六まんなかくん：「ドリームタイム」と言いながらベッドで漫画を読みます、小三三番目：「シンカリオン」にはまっておもちゃを探すも売り切ればかり、六歳

三番目の「お泊まり保育」の日がやってきました。保育園で金曜日から土曜日の朝まで過ごします。その日に向けて、クラス旗を作ったり、グループに分かれてスタンプの練習をしたり、本人の気持ちは盛り上がっていました。母は、荷物を分けて袋に入れる作業に追われます。一晩泊まるだけなのに...。長女さんの自然学校の準備のよう。足りない下着を買い足したり、かかとのあるサンダルが必要であることが判明し急ぎょ買いに走ったり、直前にバタバタしたのです。荷物は前日までに保育園の決められた箱に入れることになっていて、きれいに名前を書いたかわいい袋が並ぶ中に、スーパーのレジ袋に名前を走り書きした三番目の荷物を前日に滑り込ませました。

「明日お泊まり保育だね、楽しみだね。」と言ってくれた先生に、「は～、妖怪ウォッチ見られへんわ。」と返していましたが、前日の年長組のテンションはものすごく高かったらしく、三番目もいつも以上に声が大きく、飛び跳ねていました。

長女さんとまんなかくんも別の意味で「お泊まり保育」を心待ちにしていました。普段三番目の自分勝手な行動に振り回される姉と兄は、「よし、金曜日はゆっくりしよう。」と目標を決めたらしく、何かちょっかいをかけられても「お泊まり保育までもう少し。」と目配せをし合ってやり過ごしていました。「三番目～、いいなとお泊まり保育！」と声をかける長女さん。「土曜の朝に帰ってくる？！短いな。」と不満を口にするまんなかくん。母も、最近の三番目の態度に爆発することも多くなっていたので、「静かになるな。お泊まり保育ありがとう！」と、考えることは子どもたちと一緒なものでした。

当日、長女さんから借りたリュックに荷物がバンバンで、「こんなに荷物が大きいんだよ～。」とニコニコして登園した三番目。ちょっと緊張するタイプなので、一応「大丈夫？」とは声をかけましたが、「何のこと？」と返されました。

三番目がいないと...静かでした。保育園のお迎えがないと...楽でした。パパと夜出かけて帰ってきたら、長女さんとまんなかくんがケンカをして、別々の部屋で同じテレビ番組を見ていましたが...。その後は仲直りし、長女さんの部屋で一緒に寝ていました。夜遅くアップされた保育園のホームページには、笑顔でバンザイする三番目の写真がありました。

翌朝迎えに行ったら、「静かだったわ～」と言っているママが多数。終わりの式の最後を見学したのですが、涙を浮かべてその様子を見ているママが多数。「お泊まり保育、頑張ったね。成長したね。」と思おうとしたのですが、私にはそんな感情が湧いてこない。「さようなら！！」と大きな声であいさつをして、待っているママの胸に飛び込んでくる子どもたち。ぎゅっと抱っこされて笑顔がはじけています。私は、たとえば、三番目が来ない。探すとセミを手に先生に話しかけていました。しばらくすると「セミやで～」と言いながら寄ってきました。「頑張ったね。抱っこしようか？」と両手を広げると一応身を預けるも、「もう、きついきつい。」とするりと抜け出し、お友達にセミを見せに行っただけでした。「お泊まり保育どうやった？」と聞いたら、「スイカ割りって、硬いねんで。」という返答。それでも数日に渡り、ぼつぼつと楽しかったことを話してくれました。「俺、保育園泊まってん！頑張った。」と家族に報告し、「頑張ったから褒美は？」とニヤリと笑う三番目。またまたうるさくも楽しい日々が始まりました。

草々